

令和3年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「カトレン地区若者のためのカウンセリングセンター建設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

令和5年3月16日

令和5年3月15日、令和3年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力「カトレン地区若者のためのカウンセリングセンター建設計画」の引渡式が、大森摂生駐ボツワナ日本国大使、マブセ・プレ教育・技術開発省副大臣、被供与団体代表のリサ・ジャム事務局長及び来賓その他関係者の出席の下、ステッピング・ストーンズ・インターナショナル敷地内にて行われました。

本計画は、首都ハボローネ市の中心街から約4.5km北に位置する、カトレン地区モチュディ村において、カウンセリングセンター(105.80㎡、カウンセリング室3、会合室1、待合室1、男女別トイレ)の建設を支援するもので、同地域の12~25歳の子ども・若者とその家族、及び地域コミュニティメンバーが、適切な環境でカウンセリングを受けられるようになります。精神的な悩み等を抱えている若者の問題を解決することにより、住民の安定的な生活及び生活水準の向上に資することを目的としています。

引渡式において、大森大使は、契約署名式後、計画どおり1年間でプロジェクトを完工し、引渡式を迎えられたことを称賛するとともに、建設されたカウンセリングセンターの適切な運用と、支援を必要とする様々な人たちが同施設を活用できることを期待する旨述べました。また、若者の将来の可能性を支援するために、日本と被供与団体がパートナーシップを組み、協力していく必要がある旨述べました。



(写真) プラークを除幕する大森大使



(写真) 供与したカウンセリングセンター内の待合室